

—川崎市市民ミュージアム 映像ホール 2019年9-12月の特集上映—

現代音楽×日本映画の新たな表現への探求の軌跡を辿る、計22作品を上映！

現代音楽と日本映画の交差点 1950s-1970s

2019年9月7日(土)より川崎市市民ミュージアムにて開催！



川崎市市民ミュージアムでは、映像ホールにて9月7日(土)から特集上映「現代音楽と日本映画の交差点 1950s-1970s」を開催します。

1950年代に始まった日本の電子音楽は、電子音楽が生まれた欧州の系譜とは異なる独自の形で発展してきました。「録音」した音から創作が可能な電子音楽は、フィルム光学サウンドトラックに音を録音する映画音楽に接近しながら、新たな可能性を追求していきます。

本特集では、国内での電子音楽の始まりを起点としながら、1950年代から70年代頃の映画音楽に焦点をあて、現代音楽と日本映画における新たな表現への探求の軌跡を辿ります。当館の収蔵作品から劇映画を中心に、全22作品を紹介します。

また、10月5日(土)の『おとし穴』上映後、「映画音楽講座 武満徹の音・音楽の世界」の開催が決定。講師には小沼純一氏(早稲田大学文学学術院教授、音楽・文芸批評家)をお迎えします。

■上映作品 (全22作品)

『カルメン純情す』(1952)／『近松物語』(1954)／『噂の女』(1954)／『おとし穴』(1962)／
『切腹』(1962)／『太平洋ひとりぼっち』(1963)／『砂の女』(1964)／『怪談』(インターナショナル・バージョン)(1964)／
『悦楽』(1965)／『他人の顔』(1966)／『河 あの裏切りが重く』(1966)／『さらば夏の光』(1969)／
『エロス+虐殺』(1969)／『心中天網島』(1969)／『煉獄エロイカ』(1970)／『東京戦争戦後秘話』(1970)／
『儀式』(1971)／『戒厳令』(1973)／『青幻記 遠い日の母は美しく』(1973)／『卑弥呼』(1974)／
『北村透谷 わが冬の歌』(1977)／『ざ・鬼太鼓座 デジタルリマスター』(1981)

PICK UP 『おとし穴』



上映日:10月5日[土]14:00★
10月6日[日]14:00

1962年/モノクロ/35mm/97分

監督:勅使河原宏 撮影:瀬川浩 音楽監督:武満徹 音楽:一柳慧、高橋悠治
出演:井川比佐志、佐々木すみ江、矢野宣

勅使河原宏の長編劇映画第一作。寂れた北九州の炭鉱を舞台に、組合間の隔たりが双方の殺し合いへと発展していく様子を描いた作品。音楽監督を武満徹が務め、演奏には一柳慧と高橋悠治が参加している。撮影された映像に合わせて、プリペアド・ピアノなどを使いながら即興的手法で音響が設計された。

★…上映後「映画音楽講座 武満徹の音・音楽の世界」開催！

講師:小沼純一氏(早稲田大学文学学術院教授、音楽・文芸批評家)

PICK UP 『怪談』 (インターナショナル・バージョン)



©1965 東宝

上映日: 9月15日[日]14:00
9月28日[土]14:00

1964年/カラー/35mm/161分

監督: 小林正樹 撮影: 宮島義勇 音楽: 武満徹

出演: 「黒髪」新珠三千代、三國連太郎/「雪女」仲代達矢、岸恵子

「耳無抱一の話」中村嘉津雄、丹波哲郎/「茶碗の中」中村翫右衛門、杉村春子

小泉八雲の同名小説「怪談」から4編を映画化した小林正樹初のカラー作品。本作で武満は、音楽と劇中のすべての現実音も含めた映画全体の音響の設計を担当している。日本古来の邦楽器とテクノロジーを融合させながら、音の響きを追求した武満による映画音楽の代表作。



『煉獄エロイカ』

監督: 吉田喜重

撮影: 長谷川元吉

音楽: 一柳慧

出演: 岡田茉莉子

鶴田貝造

木村菜穂



『他人の顔』

監督: 勅使河原宏

撮影監督: 瀬川浩

音楽: 武満徹

出演: 仲代達矢

平幹二朗

京マチ子

岸田今日子

《開催概要》

現代音楽と日本映画の交差点 1950s-1970s

日程: 2019年9月7日(土)~12月1日(日)の土日 11:00/14:00 (入替制/15分前開場)

※ただし9月21日・22日、10月12日・13日・26日・27日は休映

料金: 1プログラムにつき 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円

※未就学児・障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

会場: 川崎市市民ミュージアム 1F 映像ホール (全自由席/定員270名)

申込: 当日1F 総合案内で10:00~15:00までチケットを販売(12:00~13:00は販売休止)

※前売り券はありません。満席になり次第販売を終了します。

※65歳以上・大学生・高校生・中学生、障害者手帳等をお持ちの方は、いずれも証明できるもの(原本)をお持ちください。

●上映スケジュール詳細は別添のチラシまたは当館HP (<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/18700/>) をご確認ください。

●チラシに使用している画像はすべてご提供可能です。下記のお問い合わせ先までご連絡ください。



《川崎市市民ミュージアム 映像ホール》

開館当初からコレクションしている戦後独立プロダクションの作品や海外作品などの収蔵品を活用し、上映会を定期的に行なう。日本の美術館・博物館では数少ない映画部門がある施設として、映画を収集・保存・上映しています。近年では貴重なフィルム上映に加え、2016年には4K対応のデジタルシネマプロジェクターも導入。映画ファンから地元の方まで、心に残る劇場体験をお届けします。

《川崎市市民ミュージアム 施設概要》

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

■住所 〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2 (等々力緑地内)

■開館時間 9:30~17:00 (入場は閉館の30分前まで)

■休館日 月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始

■料金 入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。

* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。

* 20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分

「市民ミュージアム前」下車すぐ



【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 久保

TEL: 044-754-4500 (休館日を除く9:30~17:00) FAX: 044-754-4533

MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者: アクティオ・東急コミュニティー共同事業体